

東海北陸厚生局長 殿

学校法人 藤田学園
理事長 小野 雄

藤田保健衛生大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3の規定に基づき、平成24年度の業務に関して報告します。

記

- 1. 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2. 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3. 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	249人
--------	------

 (注)前年度の研修医の実績を記入すること
- 4. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第12)
- 5. 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 6. 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第13)
- 7. 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	468人	28人	496.4人	看護補助者	188人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	13人	2人	15.0人	理学療法士	40人	臨床検査技師	109人
薬剤師	77人	2人	79.0人	作業療法士	24人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	9人	その他	0人
助産師	30人	1人	31.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	1,184人	8人	1,192.0人	臨床工学士	32人	医療社会事業従事者	11人
准看護師	7人	1人	8.0人	栄養士	10人	その他の技術員	16人
歯科衛生士	4人	0人	4.0人	歯科技工士	2人	事務職員	192人
管理栄養士	21人	0人	21.0人	診療放射線技師	90人	その他の職員	100人

- (注) 1. 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2. 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
 3. 「合計」の欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下第2位を切り捨て、小数点以下第1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計数を記入すること。

8. 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たりの平均入院患者数	1,155.3人	14.9人	1,170.2人
1日当たりの平均外来患者数	1,954.6人	96.4人	2,051.0人
1日当たりの平均調剤数			(外来)1,417.1 (入院)1,243.8 剤

- (注) 1. 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
 2. 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3. 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4. 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	低出力体外衝撃波治療	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要			
心臓超音波ガイド下で重症虚血心筋部位に低エネルギー衝撃波を照射し、血管新生を誘発し、心筋虚血を改善する治療。			
医療技術名	負荷試験による正確なアスピリン喘息の診断	取扱患者数	40人
当該医療技術の概要			
従来の吸入法などによらない経口負荷によるアスピリン喘息の診断法。開発した診断法は、信頼性がきわめて高くかつ高い安全性が確保されている。			
医療技術名	免疫抑制療法	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要			
難治性ネフローゼ症候群に対して各種免疫抑制剤を使用し、コントロールをはかっている。			
医療技術名	臍輪切開を用いた新生児外科手術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
新生児外科手術症例において、臍輪部に切開を置くことにより術後に傷がほとんど目立たず、非常に整容性に優れた術式である			
医療技術名	ロボット肝切除術	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要			
da Vinci S Systemを使用し精密であり、かつ低侵襲な肝臓手術を行っている			

医療技術名	ロボット膵切除術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
da Vinci surgical systemを用いて膵切除は低侵襲術式であり、回復が早い。			
医療技術名	ロボット支援下胃切除術	取扱患者数	19人
当該医療技術の概要			
腹腔鏡下手術の欠点を補うべく、内視鏡下手術支援ロボットを用い、胃部分切除術およびリンパ節廓清を行っている。現状では保険適応とはなっていないため、自費にて行っている。当科単独の成績では、特に進行癌において術後合併症を減少できる成績を収めている。			
医療技術名	ロボット支援下胃全摘術	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要			
腹腔鏡下手術の欠点を補うべく、内視鏡下手術支援ロボットを用い、胃全摘術およびリンパ節廓清を行っている。現状では保険適応とはなっていないため、自費にて行っている。当科単独の成績では、特に進行癌において術後合併症を減少できる成績を収めている。			
医療技術名	ロボット支援下食道手術	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要			
内視鏡下手術の欠点を補うべく、内視鏡下手術支援ロボットを用い、胸腔鏡下食道亜全摘術およびリンパ節廓清を行っている。腹部操作は基本的には腹腔鏡下にて行っている。現状では保険適応とはなっていないため、自費にて行っている。当科単独の成績では、胸腔鏡下食道亜全摘術と比較し術後合併症を減少できる成績を収めている。			
医療技術名	ロボット支援下大腸切除術	取扱患者数	17人
当該医療技術の概要			
ロボット手術装置を用いた手術。解像度が高く3D画像から手術を行う為、根治性を保ち患者のQOLを上げる手術である。			
医療技術名	脊髄電気刺激療法	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要			
遷延性意識障害患者に対し、上位頸髄硬膜外に電極を留置して電気刺激を行うことで意識状態の改善を図る。			
医療技術名	神経内視鏡技術を応用した脳深部腫瘍の生検術	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要			
神経内視鏡と手術ナビゲーションを応用して、脳深部に発生した腫瘍に対して正確な組織採取と確実な止血操作を特徴とする組織生検術を行う。			
医療技術名	腹腔鏡補助下子宮腺筋症切除術	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要			
子宮内膜症は生殖年齢婦人の5~10%に発症するといわれ、近年増加している。それに伴い、子宮腺筋症は生殖年齢女性に多く発症し、生殖年齢女性のうち1~36%にみられるとされている。従来子宮腺筋症は、経産婦や流産既往のある婦人に多く発生するため治療としては大部分子宮の摘出が選択され、保存的治療の試みはなされていなかった。そこで、より低侵襲な腹腔鏡下手術による子宮腺筋症症例に対する妊孕性温存手術を確立し実践している。			
医療技術名	da Vinci S surgical systemを用いた子宮(亜)全摘術	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要			
手術支援ロボットは、内視鏡手術では困難な部位の手技も操作性が優れ、ストレスの少ない、より複雑で細やかな手術手技を可能としている。また3次元による正確な画像情報を取得できるため、より安全かつ侵襲の少ない手術が可能である。そこで、近年増加傾向にある子宮筋腫に対して、da Vinci S surgical systemを用いた子宮(亜)全摘術を確立し実践している。			

医療技術名	da Vinci S surgical systemを用いた子宮筋腫核出術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
手術支援ロボットは、内視鏡手術では困難な部位の手技も操作性が優れ、ストレスの少ない、より複雑で細やかな手術手技を可能としている。また3次元による正確な画像情報を取得できるため、より安全かつ侵襲の少ない手術が可能である。そこで、近年増加傾向にある子宮筋腫に対して、da Vinci S surgical systemを用いた子宮筋腫核出術を確立し実践している。			
医療技術名	前置胎盤に対する新方法の帝王切開手術	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要			
出血並びに子宮摘出のリスクの高い前置胎盤の重症例に対し、多施設共同研究として、子宮底部横切開をはじめとした新方法の術式し安全な手術管理に寄与する。			
医療技術名	89Sr内用療法	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要			
多発性骨転移に対する除痛療法			
医療技術名	高効率血液浄化療法	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要			
高効率血液浄化療法を用いて、サイトカインなどのメディエーター制御を行い、多臓器不全への進展を防ぐ治療法			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	65人	・膿疱性乾癬	4人
・多発性硬化症	56人	・広範脊柱管狭窄症	1人
・重症筋無力症	51人	・原発性胆汁性肝硬変	15人
・全身性エリテマトーデス	400人	・重症急性膵炎	9人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	50人
・再生不良性貧血	22人	・混合性結合組織病	56人
・サルコイドーシス	101人	・原発性免疫不全症候群	10人
・筋萎縮性側索硬化症	5人	・特発性間質性肺炎	7人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	258人	・網膜色素変性症	14人
・特発性血小板減少性紫斑病	75人	・プリオン病	2人
・結節性動脈周囲炎	68人	・肺動脈性肺高血圧症	7人
・潰瘍性大腸炎	356人	・神経線維腫症	6人
・大動脈炎症候群	24人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	12人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	20人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	21人
・脊髄小脳変性症	64人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	9人
・クローン病	285人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	57人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1人
・悪性関節リウマチ	7人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患	153人	・球脊髄性筋萎縮症	2人
・アミロイドーシス	9人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	33人
・後縦靭帯骨化症	75人	・肥大型心筋症	8人
・ハンチントン病	2人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	54人	・ミトコンドリア病	2人
・ウェゲナー肉芽腫症	10人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	3人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	66人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症	27人	・黄色靭帯骨化症	2人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人	・間脳下垂体機能障害	44人
(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。		合計	2,632人

(様式第10)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・ 腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るものに限る)	・
・ 根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る)	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には業務報告を行う3年前の4月以降に健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供したものに限り)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。			
	<input type="checkbox"/> 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。			
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	剖検CPC 年12回 臓器別カンファレンス 年60回			
剖 検 の 状 況	剖検症例数	45	例	剖検率 40 %

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
1	トロポニン陽性ACSにおける治療の現状とその効果の実態調査(NCVC-AMI)	尾崎行男	循環器内科	300,000 円	<input type="checkbox"/> 補委 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 循環器病研究開発費
2	リンパ管新生関連遺伝子発現に基づく肺癌リンパ節転移の機序解明と診断、治療法の開発	今泉和良	呼吸器内科・アレルギー科	910,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 委託 日本学術振興会
3	NSADs過敏気道疾患の病因、発症機序解明とガイドライン作成に関する研究	磯谷澄都	呼吸器内科・アレルギー科	500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 委託 厚生労働省
4	がん特異的細胞性免疫の活性化を基盤とする新たな治療	赤塚美樹	血液内科	2,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 委託 厚生労働省
5	混合性結合組織病の病態解明、早期診断と治療法の確立に関する研究	吉田俊治	リウマチ・感染症内科	3,116,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 委託 厚生労働省科学研究費補助金
6	混合性結合組織病に合併する肺高血圧症に関する検討	吉田俊治	リウマチ・感染症内科	700,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 委託 藤田学園教員研究助成費
7	膠原病患者におけるEBウィルス感染の実態の解明	深谷修作	リウマチ・感染症内科	200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 委託 藤田学園教員研究助成費
8	リウマチ膠原病領域における感染症起因菌および感染症誘発因子の検討	加藤賢一	リウマチ・感染症内科	200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 委託 藤田学園教員研究助成費
9	腎移植時合併症の新規「早期診断・鑑別診断」バイオマーカーの開発	湯澤由紀夫	腎内科	2,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 委託 文部科学省研究費補助金
10	次世代診断チップの開発とその臨床診断への応用	湯澤由紀夫	腎内科	2,600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 委託 文部科学省研究費補助金
11	患者血清を用いた免疫複合体疾患動物実験モデルの樹立	湯澤由紀夫	腎内科	50,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 委託 文部科学省研究費補助金
12	脂肪由来間葉系幹細胞を用いた免疫抑制療法の開発	湯澤由紀夫	腎内科	100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 委託 文部科学省研究費補助金
13	新たな疾患概念「腎障害におけるRASを介した腎・肺関連」の確立	湯澤由紀夫	腎内科	100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 委託 文部科学省研究費補助金
14	慢性腎不全の生命予後を規定する遺伝子情報の国際比較調査研究	湯澤由紀夫	腎内科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 委託 文部科学省研究費補助金
15	進行性腎障害に関する調査研究	湯澤由紀夫	腎内科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 委託 厚生労働省研究費補助金
16	糖尿病性腎症ならびに腎硬化症の診療水準向上と重症化防止にむけた調査・研究	湯澤由紀夫	腎内科	2,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 委託 厚生労働省研究費補助金
17	急性腎障害における肺腎相関の病態解明と診断マーカーとしてのミッドカインの臨床応用	林 宏樹	腎内科	1,820,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 委託 文部科学省研究費補助金
18	IgA腎症病因解明に向けた免疫グロブリン糖鎖の詳細な解析と新規マーカー開発	高橋和男	腎内科	1,560,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 委託 文部科学省研究費補助金
19	腎疾患における免疫グロブリン糖鎖の構造解析	高橋和男	腎内科	3,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 委託 公益財団法人武田科学振興財
20	IgA腎症における各治療法における長期予後観察の報告(扁摘、扁摘パルス療法は本当に有効であるのか?)	山本義浩	腎内科	100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 委託 財団法人地域医学研究基金 腎疾患と高血圧研究会研究費
21	慢性腎臓病における尿中L型脂肪酸結合蛋白とFree Light chainの測定意義	長谷川みどり	腎内科	100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 委託 公益財団法人愛知腎臓財団
22	IgA腎症原因解明に向けた免疫グロブリン糖鎖の詳細な解析	高橋和男	腎内科	200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 委託 公益財団法人愛知腎臓財団
23	トルバプタンによる心不全治療に慢性腎臓病が及ぼす影響(短期試験)ならびに慢性腎臓病に及ぼすトルバプタンの効果(長期試験)の検討	林 宏樹	腎内科	100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 委託 公益財団法人愛知腎臓財団
24	新たなorgan-crosstalk: 肺腎連関-CKDがCOPDに及ぼす影響の検討	多田 将士	腎内科	100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 委託 公益財団法人愛知腎臓財団
25	腎移植時合併症の新規「早期診断・鑑別診断」バイオマーカーの開発	湯澤由紀夫	腎内科	750,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 委託 藤田学園教員研究助成
26	血管造影後に生じる腎障害早期診断のための血中尿中バイオマーカー検索	長谷川みどり	腎内科	300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 委託 藤田学園教員研究助成
27	慢性腎臓病(chronic kidney disease:CKD)患者における尿中バイオマーカーを用いた睡眠時無呼吸症候群(sleep apnea syndrome:SAS)重症度の検討	富田 亮	腎内科	300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 委託 藤田学園教員研究助成
28	IgG4関連疾患に対する免疫抑制療法前後での臨床・免疫・病理学的検討	林 宏樹	腎内科	400,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 委託 藤田学園教員研究助成
29	糖尿病戦略研究課題3(J-DOIT3)	伊藤光泰	内分泌・代謝内科	2,280,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 委託 (財)国際協力医学研究振興財団
30	早期糖尿病の進展抑制に関する無作為比較臨床試験(JEDIS)	伊藤光泰	内分泌・代謝内科	150,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 委託 日本糖尿病進展抑制研究会
31	免疫性神経疾患に関する調査研究	武藤多津郎	神経内科	500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 委託 厚生労働省科学研究費補助金
32	キノホルムの毒性検討	武藤多津郎	神経内科	1,200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 委託 厚生労働省科学研究費補助金
33	神経疾患でのミクログリアの病態発現に果たす役割の解明と診断治療への応用	武藤多津郎	神経内科	910,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補委 <input type="checkbox"/> 委託 文部科学省科学研究費補助金

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
34	精神神経筋疾患の病態解明と次世代型診断・治療・予防法開発に向けた研究拠点形成	武藤多津郎	神経内科	4,000,000 円	補委 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
35	脂質ラフトを標的としたアストロサイト障害抑制の検討	朝倉邦彦	神経内科	2,470,000 円	補委 文部科学省科学研究補助金
36	ギランバレー症候群患者血清中抗GMI抗体のラフト機能と構造への影響の解明	植田晃広	神経内科	1,820,000 円	補委 文部科学省科学研究補助金
37	睡眠医療及び睡眠研究用プラットフォームの構築に関する研究	北島剛司	精神科	1,000,000 円	補委 精神神経疾患研究開発費研究
38	睡眠薬の適正使用及び減量・中止のための診療ガイドラインに関する研究	北島剛司	精神科	200,000 円	補委 厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金
39	うつ病の予兆検知へ向けた身体活動時系列の臨床応用基盤に関する研究	北島剛司	精神科	900,000 円	補委 文部科学省科学研究費補助金
40	ターゲットシークエンスを利用した統合失調症感受性遺伝子の同定	池田匡志	精神科	22,230,000 円	補委 文部科学省科学研究費補助金
41	ラモトリギン誘発性皮膚障害予測を旨とした薬理ゲノム研究	池田匡志	精神科	2,860,000 円	補委 文部科学省科学研究費補助金
42	全ゲノム領域を対象とした関連解析	岩田仲生	精神科	9,750,000 円	補委 独立行政法人 科学技術振興機構
43	抗精神病薬の多剤大量投与の安全で効果的な是正に関する臨床研究	岩田仲生	精神科	13,900,000 円	補委 厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金
44	精神療法の有効性の確立と普及に関する研究	岩田仲生	精神科	600,000 円	補委 厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金
45	精神疾患患者に対する早期介入とその普及啓発に関する研究	岩田仲生	精神科	500,000 円	補委 厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金
46	精神疾患の生物学的病態解明研究ー最新の神経科学・分子遺伝学との融合ー	岩田仲生	精神科	1,500,000 円	補委 厚生労働省 厚生労働科学研究費補助金
47	遺伝環境統計学的相互作用大規模解析による気分障害の病態メカニズムの解明	岩田仲生	精神科	42,930,000 円	補委 文部科学省 科学技術試験研究委託事業
48	自殺ハイリスク者対策推進事業	岩田仲生	精神科	4,500,000 円	補委 愛知県委託事業
49	ワクチンにより予防可能な疾患に対する予防接種の科学的根拠の確立及び対策の向上に関する研究	吉川哲史	小児科	1,500,000 円	補委 厚生労働省
50	成育医療における難治性ウイルス感染症に対する予防・診断・治療法の開発と臨床応用	吉川哲史	小児科	3,500,000 円	補委 成育医療センター
51	高度先進医療に伴う、免疫能減弱者における慢性、難治性感染症制御に向けた包括的研究	吉川哲史	小児科	4,000,000 円	補委 私立大学戦略的基盤形成事業
52	小児期からの消化器系希少難治性疾患群の包括的調査研究とシームレスなガイドライン作成	鈴木達也	小児外科	600,000 円	補委 厚生労働省
53	大腸・直腸外科領域における手技の開発と標準化	前田耕太郎	下部消化管外科	600,000 円	補委 国立がん研究センター
54	直腸癌に対するロボット手術による機能温存に関する研究	花井恒一	下部消化管外科	500,000 円	補委 国立がん研究センター
55	進行性大腸がんに対する低侵襲治療法の標準的治療法に関する研究	前田耕太郎	下部消化管外科	100,000 円	補委 厚生労働省
56	分子免疫病理学的アプローチによるNotch経路解析-炎症性血管疾患治療への応用	小林昌良	心臓血管外科	2,730,000 円	補委 文部科学省
57	原発性上皮小体機能亢進症腺腫におけるCAMP/PKAシグナリングの解析	日比八束	内分泌外科	5,200,000 円	補委 日本学術振興会
58	精神神経筋疾患の病態解明と次世代型診断・治療・予防法開発に向けた研究拠点の形成	廣瀬雄一	脳神経外科	4,000,000 円	補委 文部科学省 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業
59	血管新生抑制因子と低酸素反応阻害因子併用による新しい悪性グリオーマ化学療法法の確立	林 拓郎	脳神経外科	1,950,000 円	補委 文部科学省 学術研究助成基金
60	グリオーマに対するテモゾロミド耐性獲得の機序並びに化学療法剤増感法の検討	安達一英	脳神経外科	1,271,000 円	補委 文部科学省 学術研究助成基金
61	悪性グリオーマの化学療法剤temozolomideに対する耐性獲得機序の解明と薬剤感受性増強法の開発	廣瀬雄一	脳神経外科	700,000 円	補委 藤田学園 研究助成費
62	腰椎変性すべり症および変性側弯症の病態と手術成績の検討	庄田 基	脳神経外科	300,000 円	補委 藤田学園 研究助成費
63	脳幹内顔面神経核の逆行性変性と軸索伸長阻害に対する電位依存性Ca ²⁺ チャンネルの作用機序の解明	長谷川光広	脳神経外科	400,000 円	補委 藤田学園 研究助成費
64	新世代経口抗凝固剤関連外傷性頭蓋内出血についての基礎的研究	稲樹丈司	脳神経外科	300,000 円	補委 藤田学園 研究助成費
65	脳動脈瘤の塞栓術における充填度へのEDコイルの貢献度および長期的塞栓効果に関する検討	定藤章代	脳神経外科	300,000 円	補委 藤田学園 研究助成費
66	320列面検出器CT(320 row area detector CT(320rADCT))の心電同期再構成3D-CT angiography(4D-CTA)による未破裂脳動脈瘤拍動の検出と経過観察後の変化	早川基治	脳神経外科	200,000 円	補委 藤田学園 研究助成費
67	有限要素解析を用いた骨粗鬆症性圧迫骨折の病態解析	井上辰志	脳神経外科	100,000 円	補委 藤田学園 研究助成費
68	血管新生抑制因子と低酸素反応阻害因子併用による新しい悪性グリオーマ化学療法に関する基礎実験	林 拓郎	脳神経外科	200,000 円	補委 藤田学園 研究助成費

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
69	グリオーマに対するテモゾロミド耐性獲得の機序並びに化学療法剤増感法の検討	安達一英	脳神経外科	100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補藤田学園 研究助 <input type="checkbox"/> 委成費
70	脳卒中初期診療コース及び脳神経外科初期診療コースにおける医療従事者への教育とそれらにおける地域、救急医療における臨床効果について	井水秀栄	脳神経外科	100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補藤田学園 研究助 <input type="checkbox"/> 委成費
71	加水分解コムギを始めて化粧品及び美容化粧品等に配合されているすべての加水分解コムギたん白が全身性アレルギーの原因物質となり得るかについての研究	松永佳世子	皮膚科	2,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補日本化粧品工業 <input type="checkbox"/> 委連合会
72	化粧品中のタンパク質等の安全性に関する緊急疫学調査	松永佳世子	皮膚科	10,400,000 円	<input type="checkbox"/> 補厚生労働省 <input type="checkbox"/> 委
73	加水分解コムギにより発症した経口小麦アレルギーの病態の解明および診断技術の確立	松永佳世子	皮膚科	2,730,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補文部科学省 <input type="checkbox"/> 委
74	網羅的遺伝子解析による接触皮膚炎の診断バイオマーカー探索と診断技術の確立	矢上晶子	皮膚科	130,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補文部科学省 <input type="checkbox"/> 委
75	移植医療の社会的基盤に関する研究	星長清隆	泌尿器科	420,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補厚生労働省科学 <input type="checkbox"/> 委研究費
76	ファージディスプレイ法より前立腺癌の癌特異抗原に対し単離した完全ヒト型抗体の研究	白木良一	泌尿器科	1,300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補文科省科学研究 <input type="checkbox"/> 委費
77	献腎移植における移植腎予後と心機能を評価するバイオマーカーの確立	日下守	泌尿器科	1,100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補文科省科学研究 <input type="checkbox"/> 委費
78	心停止下高齢ドナーからの献腎移植適応の関する研究	早川邦弘	泌尿器科	600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補文科省科学研究 <input type="checkbox"/> 委費
79	高度先進医療に伴う、免疫機能減弱者における慢性、難治性感染症制御	星長清隆	泌尿器科	4,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補文科省科学研究 <input type="checkbox"/> 委費
80	胎児発育不全合併妊娠に対する新規発症前診断方法の確立	多田 伸	産科・婦人科	300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補日本私学学校振 <input type="checkbox"/> 委興共催事業
81	妊娠高血圧症候群の発症前診断に関わる早期診断マーカーの確立	西澤春紀	産科・婦人科	600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補日本私学学校振 <input type="checkbox"/> 委興共催事業
82	CD36、ap2が閉経後肥満に関与し肝臓の脂肪蓄積に対する代償としてPGC1 α が上昇する	西尾永司	産科・婦人科	250,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補日本私学学校振 <input type="checkbox"/> 委興共催事業
83	プラチナ抵抗性子宮頸部腺癌細胞株の特性とその耐性克服におけるERCC1の役割	加藤利奈	産科・婦人科	300,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補日本私学学校振 <input type="checkbox"/> 委興共催事業
84	重症妊娠高血圧症候群におけるアネキシンA5遺伝子多型の解析	宮村浩徳	産科・婦人科	200,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補日本私学学校振 <input type="checkbox"/> 委興共催事業
85	経膈超音波診断像による妊娠末期頸管領域像と、Real-PCR法による頸管熱化に関するmRNA発現との関連 およびそれを用いた分娩進行と臨床的予後予測	宮崎 純	産科・婦人科	100,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補日本私学学校振 <input type="checkbox"/> 委興共催事業
86	Podoplaninは卵巣明細胞腺癌において細胞増殖の抑制に関与する	大江収子	産科・婦人科	150,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補日本私学学校振 <input type="checkbox"/> 委興共催事業
87	次世代医療機器評価指標作成事業 活動機能回復装置一式	才藤栄一	リハビリテーション科	4,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補国立医薬品食品 <input type="checkbox"/> 委衛生研究所
88	外傷後の摂食・嚥下リハビリテーションの革新的研究 外傷性脳損傷患者に対する随意運動介助型機能的電気刺激を用いた摂食・嚥下訓練法の開発	加賀谷斉	リハビリテーション科	5,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補日本損害保険協 <input type="checkbox"/> 委会
89	随意運動介助型電気刺激を用いた摂食・嚥下障害患者の嚥下動作再建法	加賀谷斉	リハビリテーション科	910,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補文部科学省科学 <input type="checkbox"/> 委研究費
90	320-ADCTとマンOMETRYを用いた嚥下手技の解析	柴田斉子	リハビリテーション科	4,290,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補文部科学省科学 <input type="checkbox"/> 委研究費
91	SPECT/CT装置によるアイトープ療法の定量的評価法の開発	外山 宏	放射線科	1,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補公益財団法人鈴木謙三記 <input type="checkbox"/> 委念医学応用研究財団
92	全脳CT灌流画像とMRスペクトロスコピーを用いた神経腫瘍の悪性度診断	村山和宏	放射線科	2,860,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補文部科学省科学 <input type="checkbox"/> 委研究費
93	終末期がん患者の栄養管理に関わる調査研究	東口高志	緩和医療科	12,902,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補厚生労働省 <input type="checkbox"/> 委
94	虚弱・サルコペニアモデルを踏まえた高齢者食生活支援の枠組みと包括的介護予防プログラムの考察および検証を目的とした調査研究	東口高志	緩和医療科	500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補厚生労働省 <input type="checkbox"/> 委
95	在宅療養中の胃瘻患者に対する摂食・嚥下リハビリテーションに関する総合的研究	東口高志	緩和医療科	250,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補厚生労働省 <input type="checkbox"/> 委
96	高齢者の嚥下障害に対する医療的対応と在宅ケアに関する研究	東口高志	緩和医療科	400,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補厚生労働省 <input type="checkbox"/> 委
97	敗血症性多臓器不全に対する間葉系幹細胞移植療法とth	加納秀記	救急科	1,820,000 円	<input type="checkbox"/> 補日本学術振興会、 <input type="checkbox"/> 委基盤研究C
98	敗血症性急性腎不全に対するmesenchymal stem cell移植療法	武山直志	救急科	2,470,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補日本学術振興会、 <input type="checkbox"/> 委基盤研究C
99	生活習慣病における潜在性心筋障害の病態と臨床的意義の解明	石井 潤一	臨床検査部	2,600,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補文部科学省 <input type="checkbox"/> 委
100	In vitro 培養系を用いた大腸発がん機構の解析	塚本徹哉	病理診断科	1,000,000 円	<input type="checkbox"/> 補独立行政法人国立 <input type="checkbox"/> 委がん研究センター
101	化学物質の安全性と発がん性リスク評価のための短・中期バイオアッセイ系の開発	塚本徹哉	病理診断科	2,000,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補厚生労働省 <input type="checkbox"/> 委
102	がん化学予防剤の開発に関する基礎及び臨床研究	塚本徹哉	病理診断科	1,500,000 円	<input checked="" type="checkbox"/> 補厚生労働省 <input type="checkbox"/> 委

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
103	個体レベルにおける放射線照射による遺伝子発現変動の臓器別解析	塚本徹哉	病理診断科	1,050,000 円	<input type="checkbox"/> 補 <input checked="" type="checkbox"/> 委 (財)電力中央研究所 原子力技術研究所 放射線安全研究センター
104	ヒト腫瘍性病変の病理組織学的および免疫組織学的研究	黒田 誠	病理診断科	2,400,000 円	<input type="checkbox"/> 補 <input checked="" type="checkbox"/> 委 中京クリニカルセンター
105	歯科口腔外科における低侵襲治療装置の開発	水谷英樹	口腔外科	500,000 円	<input type="checkbox"/> 補 <input checked="" type="checkbox"/> 委 藤田学園
106	睡眠時無呼吸症候群への口腔内装置の効果	今村基尊	口腔外科	100,000 円	<input type="checkbox"/> 補 <input checked="" type="checkbox"/> 委 藤田学園
107	口蓋裂を伴ったピエールロバンシーケンス症例の診断および治療に関する研究	佐藤公治	口腔外科	100,000 円	<input type="checkbox"/> 補 <input checked="" type="checkbox"/> 委 藤田学園
108	口唇口蓋裂の顎発育に関する研究	相澤貴子	口腔外科	100,000 円	<input type="checkbox"/> 補 <input checked="" type="checkbox"/> 委 藤田学園
109	咀嚼嚥下における誤嚥防止のための咀嚼法の臨床応用～義歯による影響について～	藤井航	口腔外科	250,000 円	<input type="checkbox"/> 補 <input checked="" type="checkbox"/> 委 藤田学園
110	320-MSCTを用いたモーションアーチファクトの研究	金森大輔	口腔外科	300,000 円	<input type="checkbox"/> 補 <input checked="" type="checkbox"/> 委 藤田学園
111	口蓋裂手術におけるレミフェンタニルの適正投与速度と術中・術後合併症に関する検討	小林義和	口腔外科	100,000 円	<input type="checkbox"/> 補 <input checked="" type="checkbox"/> 委 藤田学園
112	脳死下臓器移植術前、術後患者の口腔内評価法の開発	渡辺崇広	口腔外科	100,000 円	<input type="checkbox"/> 補 <input checked="" type="checkbox"/> 委 藤田学園

- (注) 1. 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2. 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3. 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」、委託の場合には「委」に「✓」をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

発表等の実績

No.	雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
1	Circ J 76(7):1678-1686,2012	A Histological and Clinical Comparison of New and Conventional Integrated Backscatter Intravascular Ultrasound (IB-IVUS).	Ohta M	循環器内科
2	Atherosclerosis 221(2):490-495,2012	Circulating high-mobility group box 1 and cardiovascular mortality in unstable angina and non-ST-segment elevation myocardial infarction.	Hashimoto T	循環器内科
3	Circ J 76(8):1848-1855,2012	Pre-procedural glucose levels and the risk for contrast-induced acute kidney injury in patients undergoing emergency coronary intervention.	Naruse H	循環器内科
4	Circ J 77(2):411-417,2013	Morphologic and functional assessment of coronary artery disease--potential application of computed tomography angiography and myocardial perfusion imaging.	Motoyama S	循環器内科
5	Cardiovasc Interv Ther 28(1):1-8,2013	Coronary CT angiography and high-risk plaque morphology.	Motoyama S	循環器内科
6	J Cardiol 60(1): 31-35, 2012	Association between clinical outcome and antiarrhythmic treatment in heart failure patients who have atrial fibrillation upon admission to the hospital.	Watanabe E	循環器内科
7	Circ J 76(6): 1436-1441, 2012	Coronary plaque characteristics in patients with mild chronic kidney disease.	Kawai H	循環器内科
8	Cough. 9(1),2013	Classification of chronic cough by systematic treatment cascade trial starting with beta agonist.	Shimizu H	呼吸器内科・アレルギー科
9	Med Mol Morphol ,2013	Downregulation of anti-oncomirs miR-143/145 cluster occurs before APC gene aberration in the development of colorectal tumors.	Kamatani A	消化管内科
10	Hepatogastroenterology 59(120):2516-2522,2012	Examination of serum pepsinogen in functional dyspepsia.	Tahara T	消化管内科
11	Hepatogastroenterology 59(120):2416-2420,2012	Synergistic effect of IL-1 β and TNF- α polymorphisms on the H. pylori-related gastric pre-malignant condition.	Tahara T	消化管内科
12	Hepatogastroenterology 59(114):426-429,2012	Role of heat-shock protein (HSP) 70-2 genotype in peptic ulcer in Japanese population.	Tahara T	消化管内科
13	Dig Dis Sci.57(4):958- 966,2012	Presence of minimal change esophagitis closely correlates with pathological conditions in the stomach.	Tahara T	消化管内科
14	J Gastroenterol 48(8): 996-997,2012	What is the benefit of computer-assisted image analysis of liver fibrosis area?	Yoshioka K	肝胆膵内科
15	Int J Hematol. 96(2):186-193,2012	Acute myeloid leukemia in older adults.	Yanada M	血液内科・化学療法科
16	Hematology. 18(2):74-80,2013	Differences in outcome for consecutive patients with diffuse large B-cell lymphoma before and after the advent of rituximab: a single-center experience	Okamoto A	血液内科・化学療法科
17	Bone Marrow Transplant. 48(3):390-395,2013	Effect of related donor availability on outcome of AML in the context of related and unrelated hematopoietic cell transplantation.	Yanada M	血液内科・化学療法科
18	Int J Hematol. 96(4):516-520,2012	Severe hepatitis associated with varicella zoster virus infection in a patient with diffuse large B cell lymphoma treated with rituximab-CHOP chemotherapy.	Okamoto A	血液内科・化学療法科

No.	雑誌名	題 命	発表者氏名	所 属 部 門
19	Haematologica. 97(6):915-918,2012	Prognosis of acute myeloid leukemia harboring monosomal karyotype in patients treated with or without allogeneic hematopoietic cell transplantation after achieving complete remission.	Yanada M	血液内科・化学療法科
20	Journal of Hematopoietic Cell Transplantation 1(1):29-32, 2012	Successful autologous stem cell transplantation for relapsed lymphoma with peripheral blood stem cells cryopreserved for ten years.	Inaguma Y	血液内科・化学療法科
21	Current Medical Research & Opinion 28(6):1069-1076,2012	Long-term safety and efficacy of ambrisentan in Japanese adults with pulmonary arterial hypertension.	Yosida S	リウマチ・感染症内科
22	厚生労働科学研究費補助金難知性疾患克服研究事業平成24年度総括・分担研究報告書 1-2,2012	混合性結合組織病の病態解明、早期診断と治療法の確立に関する研究	吉田 俊治	リウマチ・感染症内科
23	厚生労働科学研究費補助金難知性疾患克服研究事業平成24年度総括・分担研究報告書 9-12,2012	混合性結合組織病の肺動脈性肺高血圧症診断の手引きの検証に関する研究	深谷 修作	リウマチ・感染症内科
24	厚生労働科学研究費補助金難知性疾患克服研究事業平成24年度総括・分担研究報告書 48-50,2012	膠原病患者における運動負荷心エコー検査に関する研究	深谷 修作	リウマチ・感染症内科
25	日本内科学雑誌 101(5):1413-1419,2012	医学と医療の最前線 混合性結合組織病の診断と治療の進歩	吉田 俊治	リウマチ・感染症内科
26	Thyroid 22(5):516-521,2012	Relative levels of the inflammatory cytokine TNF α and the soluble CD40 ligand profile in serum correlate with the thyrotoxic activity of Graves' disease	Yamamoto K	内分泌・代謝内科
27	日本医師会雑誌. 141(11): 2419-2423, 2013	甲状腺機能低下症を示す疾患	伊藤 光泰	内分泌・代謝内科
28	日本骨粗鬆症学会雑誌 Osteoporosis Japan. 21(1): 134-135, 2013	骨粗鬆症と栄養	鈴木 敦詞	内分泌・代謝内科
29	FASEB J 26(7): 3065-3074, 2012	Abnormal cross-talk between mutant presenilin 1 (I143T, G384A) and glycosphingolipid biosynthesis.	Mutoh T	神経内科
30	Future Virol 7(9):901-909, 2012	An update on diagnostic imaging studies of viral encephalitis.	Kawamura N	神経内科
31	脳卒中 35:306-311,2013	左角回から側頭葉にかけての深部白質の脳梗塞で漢字の純粋失書を呈した1例	石川 等真	神経内科
32	神経内科 79(3),2013	抗(中性)糖脂質抗体と辺縁系脳炎	武藤多津郎	神経内科
33	Hum Psychopharmacol 28(1):80-86,2013	Yokukansan in the Treatment of Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia: A Systematic Review and Meta-analysis of Randomized Controlled Trials	Matsuda Y	精神科
34	J Psychiatr Res 47(2):149-154,2013	Blonanserin for schizophrenia: Systematic review and meta-analysis of double-blind, randomized, controlled trials	Kishi T	精神科
35	Asian J Psychiatr 6(1):86-87,2013	Efficacy and Tolerability of High Dose Olanzapine in Japanese Patients with Treatment-Resistant Schizophrenia	Kishi T	精神科
36	Neurosci Lett 529(1):66-69,2012	An evaluation of polymorphisms in casein kinase 1 delta and epsilon genes in major psychiatric disorders	Matsunaga S	精神科
37	J Affect Disord 142(1-3):315-322,2012	GTP cyclohydrolase 1 gene haplotypes as predictors of SSRI response in Japanese patients with major depressive disorder	Kishi T	精神科

No.	雑誌名	題 命	発表者氏名	所属部門
38	Eur Arch Psychiatry Clin Neurosci 263(2):105-118,2013	The serotonin 1A receptor gene confer susceptibility to mood disorders: results from an extended meta-analysis of patients with major depression and bipolar disorder	Kishi T	精神科
39	Neuromolecular Med 14(2):131-138,2012	The relationship between acoustic startle response measures and cognitive functions in Japanese patients with schizophrenia	Kishi T	精神科
40	PLoS One 7(8):e43539,2012	Enhanced persistency of resting and active periods of locomotor activity in schizophrenia	Sano W	精神科
41	分子精神医学 12(4):303-305,2012	注目の遺伝子(第19回)NOTCH4	池田 匡志	精神科
42	Heart View 16 (8):821-830,2012	【体内リズムと循環器病】 識る 時計遺伝子と概日リズムの関連する睡眠障害, 気分障害	岸 太郎	精神科
43	睡眠医療 6 (2):247-252,2012	うつ病と睡眠】 気分障害の光療法と暗闇療法.	土屋 晶子	精神科
44	精神科治療学 27 (増刊号):363-372,2012	気分障害の治療ガイドライン 第12章 いくつかの特殊な問題 4. 睡眠障害との関連	北島 剛司	精神科
45	J Med Virol 84(6):986-991,2012	Correlation between serum matrix metalloproteinase and antigenemia levels in patients infected with rotavirus.	Kawamura Y	小児科
46	Brain Develop 35(6):590-595,2013	Serum biomarker kinetics with three different courses of HHV-6B encephalitis.	Kawamura Y	小児科
47	Bone Marrow Transplant 47(10):1381-1382,2012	Posterior reversible encephalopathy syndrome in a child with post-transplant HHV-6B encephalitis.	Kawamura Y	小児科
48	Hepatogastroenterology 59(117):1498-1500,2012	Distal pancreatectomy with en bloc celiac axis resection performed while monitoring hepatic arterial flow by using a transonic flowmeter during operation.	Shimura M	胆膵外科
49	World Journal of Surgery 36(7):1608-1616,2012	Robot-assisted Thoracoscopic Lymphadenectomy Along the Left Recurrent Laryngeal Nerve for Esophageal Squamous Cell Carcinoma in the Prone Position: Technical Report and Short-term Outcomes	Suda K	上部消化管外科
50	日本外科学会雑誌 113(4):384-387,2012	消化器科外科領域におけるRobotic surgeryの現状と展望	宇山 一郎	上部消化管外科
51	外科 74(8):825-828,2012	上部消化管のrobotic surgery	宇山 一郎	上部消化管外科
52	Surgical Endoscopy 27(1):286-294,2013	Laparoscopic versus open D2 gastrectomy for advanced gastric cancer: a retrospective cohort study	Shinohara T	上部消化管外科
53	Journal of Gastric Cancer 13(1):19-25,2013	Laparoscopic Surgery for Advanced Gastric Cancer:Current Status and Future Perspectives	Uyama I	上部消化管外科
54	Techniques in Coloproctology 16(2):143-145,2012	Simple excision and closure of a distal limb of loop colostomy prolapse by stapler device.	Masumori K	下部消化管外科
55	Hepatogastroenterology 59(119):2177-2181,2012	Laparoscopic assisted synchronous gastrectomy and colectomy with lymphadenectomy for double cancer in our experience.	Hanai T	下部消化管外科
56	日本大腸肛門病学会雑誌 65(6):328-334,2012	直腸癌に対するロボット手術～da Vinci S Surgical Systemを使用して内括約筋切除(ISR) 3例を経験して～	勝野 秀稔	下部消化管外科
57	日本大腸肛門病学会雑誌 65(10):840-846,2012	直腸脱に対する直腸固定術の手技と成績	小出 欣和	下部消化管外科
58	日本大腸肛門病学会雑誌 66(1):7-12,2013	XELOX+Bevacizumab療法におけるチーム医療の実践	松岡 宏	下部消化管外科

No.	雑誌名	題 命	発表者氏名	所属部門
59	Asian Cardiovascular and Thoracic Annals 21(1):31-36,2013	Arch replacement using antegrade selective cerebral perfusion for shaggy aorta.	Takagi Y	心臓血管外科・呼吸器外科
60	Ann Thorac Cardiovasc Surg.19(1):76-78,2013	Excellent Durability of Starr-Edwards Ball Valves Implanted in the Aortic and Mitral Positions for 27 Years* Report of a Rare Surgical Case	Tochii M	心臓血管外科・呼吸器外科
61	日本呼吸器外科学会雑誌 26(4):373-379,2012	胸腔鏡下切除術後疼痛管理における持続傍脊椎神経ブロックの有用性に関する検討	杉村 裕志	心臓血管外科・呼吸器外科
62	Endocrine Journal 60(2):215-223,2013	Increased protein kinase A type I α regulatory subunit expression in parathyroid gland adenomas of patients with primary hyperparathyroidism.	Hibi Y	内分泌外科
63	The Open Medical Imaging Journal (Volume 6-89-96-2012)	Sentinel Node Navigation Surgery with 99mTc-tin Colloid in Breast Cancer: Radiation Safety Considerations.	Utsumi T	乳腺外科
64	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 65(7):e182-184,2012	A case of orbital hypertelorism with recovery of binocular vision after surgical treatment.	Okumoto T	形成外科
65	日形会誌 32(9): 681-685, 2012	内直筋絞扼を伴った眼窩内壁骨折の1例	大西 智子	形成外科
66	形成外科 55(12): 1369-1374, 2012	特殊な自己免疫疾患で眼瞼腫脹を来たし診断治療に苦慮した1例	大西 智子	形成外科
67	形成外科 56(3): 301-306, 2013	眼窩骨折に対する定量評価の試み—第1報:CT画像解析を用いた眼窩容積測定の有用性について—	杉浦 謙介	形成外科
68	Journal of Clinical Neuroscience 19:638-642,2012	Surgical nuances of clipping after coiling: Looking beyond the international subarachnoid aneurysm trial	Kato Y	脳神経外科
69	Geriatr Gerontol Int 12(4):667-672,2012	Influence of warfarin and low-dose aspirin on the outcomes of geriatric patients with traumatic intracranial hemorrhage resulting from ground-level fall.	Inamasu J	脳神経外科
70	Acta Neurochir (Wien) 154(12):2179-2184,2012	The role of catecholamines in the pathogenesis of neurogenic pulmonary edema associated with subarachnoid hemorrhage.	Inamasu J	脳神経外科
71	Clinical Neurology and Neurosurgery 1520-1523,2013	Rotational vertebral artery occlusion associated with occipitoatlantal assimilation, atlantoaxial subluxation, and basilar impression	Inamasu J	脳神経外科
72	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases 1-5,2013	Decompressive Hemispherectomy for Malignant Hemispheric Stroke in the Elderly: Comparison of Outcomes between Individuals 61-70 and > 70 years of age	Inamasu J	脳神経外科
73	Environ Health Prev Med 18(2):130-135,2013	Cardiac arrest in the toilet:clinical characteristics and resuscitation profiles	Inamasu J	脳神経外科
74	Neurologia medico-chirurgica 52(8):611-616,2012	Clinical, Histological, and Genetic Features of Fourth Ventricle Ependymoma in the Elderly	Hayashi T	脳神経外科
75	Head and Neck Pathol 159-162,2013	Subdural Hematoma Caused by Epithelioid Angiosarcoma Originating from the Skull.	Yamada Y	脳神経外科
76	N Eng J.Med. 366(26):2474-2482,2012	The natural course of unruptured cerebral aneurysms in Japanese cohort	Sadato A	脳神経外科
77	脊髄外科26(2):171-18,2012	頭蓋頸椎移行部・上位頸椎のAVF, AVM	井上 辰志	脳神経外科

No.	雑誌名	題 命	発表者氏名	所 属 部 門
78	JNET 5:202-207, 2012	遺残三叉神経動脈分岐部に生じた大径内頸動脈瘤に対するtandem balloon によるballoon test occlusion	田中 鉄兵	脳神経外科
79	【希少疾患・難病】の診断・治療と製品開発 p668-679, (株)技術情報協会, 東京	神経膠腫(膠芽腫)	廣瀬 雄一	脳神経外科
80	今日の神経疾患治療指針 第2版、医学書院 328-334,2013	神経膠腫(膠芽腫、星細胞腫、乏突起膠腫、上衣腫)	廣瀬 雄一	脳神経外科
81	脳神経外科速報 22(9):1032-1037,2012	腰椎固定術の最新情報	庄田 基	脳神経外科
82	日本脊髄外科学会機関誌 26(1):3,2012	脊髄外科指導医に期待されること	庄田 基	脳神経外科
83	今日の治療指針,2012	片側顔面痙縮	長谷川光広	脳神経外科
84	ビジュアル脳神経外科 7:168-179,2012	錐体斜台髄膜腫の治療戦略	長谷川光広	脳神経外科
85	脳神経外科ジャーナル 21(11):857-861,2012	Transcondylar approachの基本と応用	長谷川光広	脳神経外科
86	メディカルビュー 227-23,2012	脊椎脊髄外科サージカルテクニック IV 胸腰椎後方手術 椎弓切除術 胸椎OYL	井上 辰志	脳神経外科
87	Medical Torch1 (9):60-62,2013	微小血管減圧術におけるペリプラストPの有用性～ペリプラストPコンビセット エアーレスデバイスを用いて～	林 拓郎	脳神経外科
88	Knee. 20(1):58-62,2013	Allograft bone transplantation for neuropathic arthropathy of the knee associated with type 1 diabetes mellitus.	Date H	整形外科
89	PLoS One 8(2):e56641,2013	Osteogenic differentiation capacity of human skeletal muscle-derived progenitor cells.	Oishi T	整形外科
90	東海関節 4:97-100,2012	Treatment of non-union after a supracondylar femoral fracture with total knee arthroplasty using a cruciate-retaining stemmed femoral	Date H	整形外科
91	JOSKAS 37(3):462-468,2012	変形性膝関節症に対する膝蓋骨非置換人工膝関節置換術の中期成績	早川和恵	整形外科
92	中部日本整形外科災害外科学会雑誌 55(4):811-812,2012	Porous tantalum臼蓋コンポーネントを用いた anterolateral-supine approachによるMIS-THAの短期成績	金治有彦	整形外科
93	Hip joint 38:1153-1155,2012	人工股関節全置換術前後におけるD-dimer値の検討 RDCとOAの比較	大石央代	整形外科
94	日本人工関節学会誌 42:111-112,2012	THA感染 人工股関節感染症例に対する同種長管骨および抗菌薬含有骨セメントを用いたセメントロングステムによる再置換術の有用性	森田充浩	整形外科
95	OS NOW Instruction 23:63-77,2012	中手骨・CM関節損傷～手の外傷 早期機能回復をめざして～	鈴木克侍	整形外科
96	J Dermatol. 39(12):1100-1101,2012	Quantitative effect of face washing on cutaneous resident microbiota in female subjects who wear make-up.	Numata S	皮膚科
97	J Dermatolog Treat. 24(4):278-82,2012	Adjunctive usage of a non-comedogenic moisturizer with adapalene gel 0.1% improves local tolerance: a randomized, investigator-blinded, split-face study in healthy Asian subjects.	Matsunaga K	皮膚科

No.	雑誌名	題 命	発表者氏名	所 属 部 門
98	J Dermatol Sci. 71(2):122-9,2013	The epidermal Integrin beta-1 and p75NTR positive cells proliferating and migrating during wound healing produce various growth factors, while the expression of p75NTR is decreased in patients with chronic skin ulcers	Iwata Y	皮膚科
99	Aesthetic Dermatology. 22(3):163-168,2012	化粧品は安全か? 加水分解コムギ末含有石鹼によるコムギアレルギーに学ぶ	松永 佳世子	皮膚科
100	アレルギー・免疫 20(2):224-232,2013	加水分解コムギ含有石鹼によるコムギアレルギーの疫学と社会的意義	矢上 晶子	皮膚科
101	Skin Canc. 27(2):218-225,2012	放射線治療が皮膚転移巣の局所コントロールに有効であった乳房外Paget病の1例	岩田 洋平	皮膚科
102	Skin Cancer. 26(3):316-322,2012	シクロスポリンにより顕在化したセザリール症候群の1例	岩田 洋平	皮膚科
103	日本応用酵素協会誌. 47:102-103,2013	ヒトにおけるIL-10産生レギュラトリーB細胞の解析	岩田 洋平	皮膚科
104	日皮会誌. 122:3447-345,2012	EL29-3 皮膚科の救急診療・緊急医療～役に立つ皮膚科～「救急外来と皮膚疾患～救急外来は皮膚科疾患の宝庫～」	岩田 洋平	皮膚科
105	皮膚病診療. 34(3):245-248,2012	タクロリムス軟膏外用後に生じたニキビダニぞ瘡	沼田 茂樹	皮膚科
106	西日本皮膚科. 75(1):14-18,2013	電撃傷の2例	沼田 茂樹	皮膚科
107	Skin Cancer. 27(3):339-344,2013	線維肉腫様変化を伴った巨大な隆起性皮膚線維肉腫の1例	高橋 正幸	皮膚科
108	西日本皮膚科. 74(6):604-607,2012	自然退縮した乳児指趾線維腫症の1例	佐々木 良輔	皮膚科
109	The Journal of Urology 187(6):2261-2267,2012	Serum neutrophil gelatinase associated lipocalin during the early postoperative period predicts the recovery of graft function after kidney transplantation from donors after cardiac death.	Kusaka M	泌尿器科
110	Japanese Journal of Endourology 25(2):230- 236,2012	ロボット支援前立腺全摘除術の導入と手術手技リンパ節郭清を中心に	白木 良一	泌尿器科
111	Japanese Journal of Endourology 25(2):325- 331,2012	限局性腎腫瘍に対するロボット支援腹腔鏡下腎部分切除術(RALPN)-藤田保健衛生大学における初期経験-	白木 良一	泌尿器科
112	移植47(6):390-392, 2012	2012年度レシピエント移植コーディネーターの認定について.	剣持 敬	臓器移植科
113	Reproductive Biology. 163(1):67-70,2012	The effect of chemotherapy or radiotherapy on thymidine phosphorylase and dihydropyrimidine dehydrogenase expression in cancer of the uterine cervix.	Hasegawa K	産科・婦人科
114	Acta Cytol. 56(4):394-400,2012	The effects of the selective cyclooxygenase-2 inhibitor on endometrial cytological findings in uterine endometrial cancer patients.	Hasegawa K	産科・婦人科
115	日本臨床細胞学会雑誌. 51(4):299-304,2012	卵巣原発扁平上皮癌の1例	鳥居 裕	産科・婦人科
116	日本産科婦人科内視鏡学 会雑誌. 28(1):346- 352,2012	自然発生が疑われたparasitic myomaの3症例	南 元人	産科・婦人科
117	The Open Medical Imaging Journal 6:103-107,2012	Primary Central Nervous System Lymphoma with Lateral Ventricle Involvement	Oie Y	放射線科

No.	雑誌名	題 命	発表者氏名	所 属 部 門
118	Radiation Oncol 8;8:56,2013	Relationship between radiation pneumonitis and organizing pneumonia after radiotherapy for breast cancer	Oie Y	放射線科
119	静脈経腸栄養 28(2):603-608,2013	【がん患者に対する栄養療法と周辺の問題】緩和医療における栄養療法	伊藤 彰博	緩和医療科
120	Blood Purification 33(4):252-256,2012	Time to initiation of treatment with polymyxin B cartridge hemoperfusion in septic shock patients.	Takeyama N	救急科
121	Chudoku Kenkyu 26(1):44-48,2013	Delayed myocardial injury following acute hydrogen sulfide intoxication.	Hirakawa A	救急科
122	BRAIN 2 (7): 615-623,2012	救急外来② walk in	武山 直志	救急科
123	救急医学 36(10):1164-1166,2012	SVV (stroke volume variation), PPV (pulse pressure variation)	武山 直志	救急科
124	日本臨床検査自動化学会 会誌 38(1): 96-102, 2013	抗環状シトルリン化ペプチド抗体(抗CCP抗体)試薬の基礎検討	谷川 瑞穂	臨床検査部
125	J Clin Microbiol 50(4):1245-1251,2012	Development of a human herpesvirus 6 species-specific immunoblotting assay.	Higashimoto Y	臨床検査部
126	J Neural Transm. 119(12):1533-1544,2012	Potential therapeutic system for Alzheimer's disease: removal of blood Aβs by hemodialyzers and its effect on the cognitive functions of renal-failure patients.	加藤 政雄	臨床検査部
127	Jpn J Compr Rehabil Sci. 3:78-84,2012	Quantitative assessment of circumduction, hip hiking, and forefoot contact gait using Lissajous figures.	伊藤 慎英	リハビリテーション部
128	透析会誌 45(12):1133-1140,2012	血液透析患者におけるそう痒症の実態とナルフラフィン塩酸塩の臨床効果—東海地区17施設における1,936例のアンケート調査—	山田 成樹	薬剤部
129	栄養一評価と治療 29(4):73(357)-79(363),2012	C型肝硬変患者に対する分岐鎖アミノ酸製剤によるlate evening snackを含む栄養管理の長期効果	中野若香奈	食養部
130	Am J Kidney Dis. (61(2)-254-6-2013)	Association of cardiac valvular calcifications and C-reactive protein with cardiovascular mortality in incident hemodialysis patients: a Japanese cohort study.	高橋宏	腎内科(研究員) 図書館学術担当課長
131	J Neural Transm. (119(12)-1533-44-2012)	Potential therapeutic system for Alzheimer's disease: removal of blood Aβs by hemodialyzers and its effect on the cognitive functions of renal-failure patients.	加藤政雄	腎内科(研究員) 検査部
132	日本薬理学会雑誌	慢性腎臓病および糖尿病性腎症における硫化水素の関与	湯澤由紀夫	腎内科
133	厚労科研:平成23年度 総括・分担研究報告書. 2013.	湯澤由紀夫(分担研究者), 研究代表者 松尾清一. 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「進行性腎障害に関する調査研究」(H23-難治-一般-033)	湯澤由紀夫	腎内科
134	厚労科研:平成24年度総括・分担研究報告書. 2013.	湯澤由紀夫(分担研究者), 研究代表者 和田隆志. 厚生労働科学研究費補助金難治性疾患克服研究事業「糖尿病性腎症ならびに腎硬化症の診療水準向上と重症化防止にむけた調査・研究」(H24-難治等(腎)-一般-001)	湯澤由紀夫	腎内科
135	尿検査教本 From 2013(臨床病理レビュー特集149号), 東京都: 株式会社宇宙堂八木書店: 2012, p31-38	第1章 総論 5. 急性腎障害AKIの考え方とバイオマーカー, 尿検査教本編集委員会 監修, 菊池春人, 油野友二, 宿谷賢一, 八木靖二, 芝紀代子, 富野康日己 編	湯澤由紀夫	腎内科

No.	雑誌名	題 命	発表者氏名	所属部門
136	ファブリー病 UpDate, 東京都: 株式会社診断と治療社: 2013, p195-201	E 治療 2. 酵素補充療法 e. 腎症状に対する効果, 衛藤義勝(責任編集), 井田博幸, 遠藤文夫, 大橋十也, 奥山虎之, 櫻庭均, 辻省次, 鄭忠和, 成田一衛, 湯澤由紀夫 編	湯澤由紀夫	腎内科
137	変革する透析医学, 東京都: 医薬ジャーナル社: 2012, p398-405	15章 急性腎障害(AKI) 2. AKIのバイオマーカー, 秋沢忠男 監修, 衣笠えり子, 小岩文彦, 緒方浩 顕, 本田浩一 編	湯澤由紀夫	腎内科
138	Annual Review 腎臓 2012. p140-149.	2. 肺・腎連関 CKDにおけるRAS活性化を介する機能的な腎・肺連関 Critical Care Nephrology における腎・肺クロストーク AKI後のALI/ARDS発症に重要な因子. 富野康日己, 柏原直樹, 成田一衛, 編	湯澤由紀夫	腎内科
139	腎臓内科 レジデントマニュアル 改訂第6版. 東京: 診断と治療社: 2012. p272-4.	16 Fabry病 1 疾患概念 2 症状 3 診断 4 治療. 今井園裕 編	湯澤由紀夫	腎内科
140	腎臓内科 レジデントマニュアル 改訂第6版. 東京: 診断と治療社: 2012. p174-8.	6 膠原病とその近縁疾患に伴う腎疾患 2 抗リン脂質抗体症候群(Aps). 今井園裕 編	林 宏樹	腎内科
141	New専門医を目指すケース・メソッド・アプローチ 腎臓疾患[第2版], 東京都: 日本医事新報社: 2012. p23-30	CASE 03 巣状分節性糸球体硬化症 両下肢浮腫を主訴に受診・入院となった68歳男性, 榎野博史 編	山本幸一郎	腎内科

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

診療並びに病院の管理に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 星長 清隆		
管理担当者氏名	事務局長 山田 一俊 医療事務部長 濱野 和治 入院医事課長 成田 達哉 外来医事課長 小川 弘志 労務課長 古庄 公美子	安全管理室長 杉岡 篤 感染対策室長 吉田 俊治 薬剤部長 山田 成樹	

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌, 各科診療日誌, 処方せん, 手術記録, 看護記録, 検査所見記録, エックス線写真, 紹介状, 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院治療計画書		総務課 外来医事課 入院医事課 各診療科 フィルム中央管理室 診療録管理室	・外来カルテ、入院カルテ共に電子カルテとしています。 ・保存期間は、外来カルテは10年、入院カルテは30年としています。 ・X線写真は、中央管理しています。なお、一部は各診療科ごとに保管しています。
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者を明らかにする帳簿	人事部	
	高度医療の提供の実績	外来医事課 入院医事課	
	高度医療技術の開発及び評価の実績	総務課	
	高度医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	総務課	
	入院患者数、外来患者数及び調剤の数を明らかにする帳簿	外来医事課 入院医事課	
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	外来医事課 入院医事課 薬剤部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	安全管理室	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	安全管理室	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	安全管理室	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	安全管理室	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策室	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	安全管理室	
当該病院内に患者から安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	安全管理室		

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保状況		
	院内感染のための指針の策定状況	感染対策室	
	院内感染のための委員会の開催状況	感染対策室	
	従事者に対する院内感染のための研修の実施状況	感染対策室	
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策室	
	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部	
	従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME管理室	
	従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME管理室	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME管理室		
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME管理室		

(注) 「診療に関する諸記録」欄には個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13-2)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
・指針の主な内容 医療安全に関する基本的な考え方、組織体制、医療安全に係る各種委員会について、安全管理者の設置、医療事故発生時の対応における基本的な考え方。	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 30 回
・活動の主な内容 ・医療問題対策委員会(月1回) ・事故防止対策委員会(月1回) ・セーフティマネージャー会(偶数月) ・医療事故の予防策の検討及び推進	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 回
・研修の主な内容 ・第1回 安全管理研修会「医療安全と継続的な改善活動」平成24年11月15日(木) ・第2回 安全管理研修会「医療における問題場面での対応術～医療者の心を守るコミュニケーション技術」平成25年2月19日(火)	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・医療機関内における事故報告等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・その他の改善のための方策の主な内容 ・患者誤認防止キャンペーンの実施 ・セーフティマネージャーによる院内巡視	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有(3 名) <input type="checkbox"/> 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有(6 名) <input type="checkbox"/> 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
・所属職員: 専任(3)名 兼任(1)名 ・活動の主な内容 ・安全管理報告の確認 ・院内診療各部門、委員会に対して医療安全に関する要求や提言 ・職員の安全管理研修	
⑧ 当該病院内に患者から安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療の提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務局長 山田 一俊
閲覧担当者氏名	薬剤部長 山田 成樹 医療事務部長 濱野 和治 入院医事課長 成田 達哉 外来医事課長 小川 弘志 労務課長 古庄 公美子
閲覧の求めに応じる場所	事務局 応接室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療の提供の実績

紹介率	68.7%	算定期間	平成24年4月1日～平成25年3月31日
算出根拠	A : 紹介患者の数		21,036人
	B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		15,829人
	C : 救急用自動車によって搬入された患者の数		7,142人
	D : 初診の患者の数		48,267人

(注) 1 「紹介率」欄はA、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dはそれぞれの延べ数を記入すること。

院内感染のための体制の確保に係る措置

① 院内感染のための指針の策定状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無										
<p>・指針の主な内容</p> <p>医療関連感染予防に対する基本的な考え方、組織に関する基本的事項、研修に関する基本方針、感染症発生状況の報告に関する基本方針、医療関連感染症発生時の対応に関する基本方針、指針の閲覧に関する基本方針、その他医療関係感染防止対策推進の為に必要な基本方針</p>											
② 院内感染のための委員会の開催状況	年 12 回										
<p>・活動の主な内容</p> <p>医療関連感染の調査・研究・予防対策などの立案、清潔区域・無菌的医療材料のチェック 清潔状態の保持に関する事、感染症患者の取扱いに関する事、消毒剤の使用基準等に関する事、職員の教育・指導に関する事、医療関連感染防止のための情報収集・伝達に関する事。</p>											
③ 従事者に対する院内感染のための研修の実施状況	年 12 回										
<p>・研修の主な内容</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">手洗い研修:年1回(5日間開催)</td> <td style="width: 50%;">新採用者オリエンテーション:年1回</td> </tr> <tr> <td>結核セミナー:年1回</td> <td>ノロウイルスセミナー:年1回</td> </tr> <tr> <td>インフルエンザセミナー:年1回</td> <td>医療の質・安全対策部報告会:年1回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>感染防止対策研修会(全職員必須):年2回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>感染症・抗菌薬セミナー:年4回</td> </tr> </table>		手洗い研修:年1回(5日間開催)	新採用者オリエンテーション:年1回	結核セミナー:年1回	ノロウイルスセミナー:年1回	インフルエンザセミナー:年1回	医療の質・安全対策部報告会:年1回		感染防止対策研修会(全職員必須):年2回		感染症・抗菌薬セミナー:年4回
手洗い研修:年1回(5日間開催)	新採用者オリエンテーション:年1回										
結核セミナー:年1回	ノロウイルスセミナー:年1回										
インフルエンザセミナー:年1回	医療の質・安全対策部報告会:年1回										
	感染防止対策研修会(全職員必須):年2回										
	感染症・抗菌薬セミナー:年4回										
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況											
<p>・病院における発生状況の報告等の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無</p> <p>・その他の改善のための方策の主な内容</p> <p>病棟ラウンド(環境ラウンド、臨床ラウンド、救命ラウンド)各週に1回ずつ 耐性菌ラウンド(新規MRSA患者):検出の翌日 カルテ回診:週1回 ICT委員会:月2回</p>											

医薬品の使用に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
② 従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況 ・活動の主な内容 ・研修医連絡会において「時間外処方箋の疑義紹介事例について」(1回/月) ・病棟薬剤師による各病棟別の勉強会(9回) ・麻薬事故防止勉強会 ・抗癌剤閉鎖式器材の使用について	年 27 回
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況 ・手順書の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・業務の主な内容 手順書に基づくチェックリストを用いて実施状況を確認する。	年 1 回
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 ・医薬品に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・その他の改善のための方策の主な内容 ・糖尿病薬の薬剤棚は赤色カセットを用いて識別する。 ・腎機能により投与量を考慮すべき薬剤は棚の薬品名に青枠を付ける。 ・院内製剤品のクラス分類を整備。 ・「医薬品の安全使用のための業務手順書」において、病棟の医薬品管理の中で規制医薬品とまとめていた部分を、麻薬・覚せい剤原料・向精神薬・眠剤・毒薬・劇薬の各項に分けて明記。	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
② 従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況 ・活動の主な内容 研修会内容 人工呼吸器関連:23回 除細動装置関連:24回 閉鎖式保育器関連:4回 血液浄化装置関連:6回 補助循環・人工心肺関連:10回 輸液関連:5回 放射線装置関連:16回 その他:26回 参加職種・人数 医師:78名、看護師:817名、その他:713名 合計 1,608名	年 114 回
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況 ・手順書の作成 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・保守点検の主な内容 平成24年度医療機器点検実績 人工呼吸器.....9,678件(内定期点検509件) 輸液関連機器.....14,986件(内定期点検1,341件) 循環関連装置(CPB、IABP etc).....46件 透析関連装置.....110件 閉鎖式保育器.....32件 生体情報モニター.....1,119件 除細動装置.....345件(内定期点検99件) その他.....5,214件	年 31,610 回
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況 ・医療機器に係る情報の収集の整備 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ・その他の改善のための方策の主な内容 厚生労働省および病院機能評価機構ホームページからの医療安全情報の収集および医療機器メーカーからの安全情報の提供。 それらの入手情報を病院イントラネットME管理室HPから病院職員への情報提供。 取扱い説明書の一元管理。 医療機器更新時の機種統一化への努力。 院内医療機器不具合報告書の運用およびデータの収集、解析、フィードバック。	